

2025年7月25日(金)19:00～
『働きたいのに働けない私たち』刊行記念

小山内園子さん・中野円佳さん トークイベント

小山内 園子 × 中野 円佳

(韓日翻訳家・社会福祉士)

(東京大学准教授)



働く意志も能力もあるのに、機会も環境も与えられない女性たち。出産・育児がキャリアの障害になる社会で、女性たちは母になることを果敢に放棄する——韓国の女性たちが労働市場から疎外される理由を解き明かす、チェ・ソンウン著『働きたいのに働けない私たち』の刊行を記念し、翻訳者の小山内園子さんと解説者の中野円佳さんが対談します。韓国フェミニズムの本を多く訳されてきた小山内さんと、日本の女性労働について研究・発信されてきた中野さんが、働けない日韓の女たちについて考えます。機会の平等性はどのように実現できるのか。一緒に考えてみませんか？

※トークイベント後には小山内園子さんのサイン会を予定しております。

【登壇者紹介】

小山内 園子(おさない・そのこ)

韓日翻訳家、社会福祉士。NHK報道局ディレクターを経て、延世大学などで韓国語を学ぶ。訳書にク・ビョンモ『破果』『破砕』(岩波書店)、チョ・ナムジュ『耳をすませば』(筑摩書房)、『私たちが記したもの』(すんみとの共訳、筑摩書房)、カン・ファギル『大仏ホテルの幽霊』(白水社)、イ・ミンギョン『私たちにはことばが必要だ』『失われた賃金を求めて』(すんみとの共訳、タバックス)など、著書に『弱さ』から読み解く韓国現代文学』(NHK出版)がある。

中野 円佳(なかの・まどか)

東京大学多様性包摂共創センターDEI共創推進戦略室副室長／准教授。東京大学教育学部卒業後、日本経済新聞社の記者を経て、フリージャーナリストに。2025年、博士号(教育)取得。著書に、『育休世代』のジレンマ』(光文社新書)、『上司の「いじり」が許せない』(講談社現代新書)、『なぜ共働きも専業主婦もいいのか』(PHP新書)、『教育大国シンガポール』(光文社新書)など。キッズライン報道でPEPジャーナリズム大賞2021特別賞、第2回調査報道大賞デジタル部門優秀賞を受賞。



☆会場…9階イベントスペースにて。入場料 2,000 円。(イベント当日受付でお支払い。)

☆予約…事前のご予約が必要です。右記 QR もしくは URL のお申し込みフォームよりご予約ください。
(<https://www.maruzenjunkudo.co.jp/entry/20250725hatarakitai>)



☆トークイベント当日の開場は、開演時間の 40 分前からとなっております。

ジュンク堂書店 池袋本店

TEL: 03-5956-6111